

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉特論Ⅶ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期 金曜3限	教室名	5校舎10階
担 当 教 員	吉川 恭子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
スクールソーシャルワーカーについて、それが必要とされる背景について学ぶ。更に価値や倫理、教育機関におけるソーシャルワークの意義を身に着けることを目指し、実務内容、実際の事例、関係論文などを活用しながら実践モデルや支援方法について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教材・資料等については授業内で配布、紹介する。						
《授業外における学習方法》						
1.自分たちの育ってきた幼少期、特に小・中学校時代を思い出しつつ現在の子ども達が置かれている状況・背景の把握に努め、相違点について考えながら学びを深める。 2.支援対象が主に子どもや家族であるという点や「学校」という環境の特殊性を理解しながら、その枠にとらわれない支援について考えていくことが重要である。ニュースなどにも関心を持って視野を広げながら授業に臨むことを期待する。						
《履修に当たっての留意点》						
・さまざまな関係機関の役割等について学びと理解を深め、多職種・他職種との連携や協働を意識した視点を持つこと。 ・授業内で知りえた友人等の個人情報に関わる内容には守秘義務があることを認識しておくこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	学校とソーシャルワークについて説明できるようになる①	レジュメ	自分自身の小学校・中学校時代を振り返り、当時の学校や生徒のイメージについてまとめておく。	
		各コマにおける授業予定	学校という場の可能性、学校とソーシャルワークの接点、スクールソーシャルワークとは何か、等			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	学校とソーシャルワークについて説明できるようになる②	レジュメ	配布資料を通読する。	
		各コマにおける授業予定	スクールソーシャルワークの専門性、価値と倫理、実践スタンダードの必要性、等			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもや家庭の社会資源と学校の関係について説明できるようになる①	レジュメ	配布資料を通読する。 関係機関について調べておく	
		各コマにおける授業予定	機関連携と個人情報保護、要保護児童対策地域協議会の役割、児童相談所の機能、社会的養護で育つ子ども、等			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもや家庭の社会資源と学校の関係について説明できるようになる②	レジュメ	配布資料を通読する	
		各コマにおける授業予定	生活保護制度の誤解、障害のある子や家庭への福祉サービス、医療機関の分類と特徴、学校とNPO法人の連携、等			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもや家庭の社会資源と学校の関係について説明できるようになる③	レジュメ	関係法規について調べておく。	
		各コマにおける授業予定	子どもや学校に関係する法律、等			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの権利条約等について説明できるようになる。①	レジュメ	配布資料を通読する
		各コマにおける授業予定	子どもの権利条約 等		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの権利条約等について説明できるようになる。②	レジュメ	配布資料を通読する
		各コマにおける授業予定	子どもの権利条約に関する教員・子どもへのアンケート結果 等		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの権利条約等について説明できるようになる。③	レジュメ	配布資料を通読する
		各コマにおける授業予定	児童福祉法 こども基本法 等		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクールソーシャルワーカーの歴史について説明できるようになる。	レジュメ	配布資料を通読する。資料等から、相違点について考えておく。
		各コマにおける授業予定	アメリカ等、諸外国での発展過程、日本における発展過程の相違点 等		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクールソーシャルワークの活動にむけた準備について説明できるようになる①	レジュメ	配布資料を通読する
		各コマにおける授業予定	スクールソーシャルワークの実践プロセス 等		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクールソーシャルワークの活動にむけた準備について説明できるようになる②	レジュメ	配布資料を通読する
		各コマにおける授業予定	実践モデル(システム理論、エコロジカルモデル)について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクールソーシャルワークの活動にむけた準備について説明できるようになる③	レジュメ	配布資料を通読する
		各コマにおける授業予定	実践モデル(エンパワメント、ストレングスモデル)について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクールソーシャルワークの活動にむけた準備について説明できるようになる④	レジュメ	配布資料を通読する
		各コマにおける授業予定	生徒指導体制の中のSSW、SSW配置のための学校体制、学校を知る、地域を知る、配置型と派遣型 等		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクールソーシャルワークの活動にむけた準備について説明できるようになる⑤	レジュメ	配布資料を通読する
		各コマにおける授業予定	社会的資源の把握、ソーシャルワークの記録、初任者研修とスーパービジョン、事業展開の可能性 等		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	ここまでの総まとめができるようになる。	レジュメ	今までの資料等を再確認する。
		各コマにおける授業予定	ここまでの全ての範囲における重要ポイントの振り返り		